

として期待されます。  
8月28日、広野町と有限会社ライジングとの東町産業団地進出に向けた連携基本協定の締結式を執り行いました。代表の賀澤亨男様から、地域貢献として雇用の積極的な確保や地元企業との共生を図ることなど、協力連携の体制を確立しました。

## 健康福祉課

7月7日から11日までの5日間、広野町中央体育館を会場とし、総合検診を実施しました。3密を防ぐため受診者を各方別に分散させ、検診の待機中には座席間隔を十分にとり、会場入り口においてはコロナ問診を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じ実施しました。受診できなかった方の方の受診機会として8月23日、日曜日に検診日を設けるとともに、国保特定健康診査の未受診者に対して受診勧奨通知を行い、受診率の向上を図りました。受診者数は、国保特定健康診査457人、後

期高齢者健康診査207人、社保被扶養者特定健康診査76人、その他の検診11人、合計751人でした。この検診結果につきまして、9月15日から17日までの期間において、福島県立医大の協力の下、保健センターおよび地区集会所6箇所において、生活習慣病予防と重症化予防を念頭に、「検診結果説明会」を開催いたします。女性特有の疾病である「乳がん・子宮がん」の早期発見・早期治療を図るため、7月1日から10月31日の期間、乳がん検診・子宮頸がん検診について検診日・検診場所を設定し、広野町保健センターおよびいわき市の医療機関において実施しております。

9月2日、令和2年度広野町敬老会を広野町中央体育館において、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて開催し、結婚50周年を迎えられた9組のご夫妻へ福島民報社とともに金婚夫婦表彰を行い、最高齢者および満85歳以上の高齢者に対して記念品の贈呈を行いました。



感染症対策を講じて敬老会を開催

## こども家庭課

6月以降も引き続き、マスクの着用や検温、換気の徹底や参加者の距離を保つなど、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分講じたうえで各種事業に取り組みました。

6月25日、7月30日および8月27日に乳幼児健診を実施し、35名の参加がありました。

7月7日、こども園において、七夕会を実施しました。規模を縮小し、スイカ割りや5歳児のみの参加となりましたが、パネルシアターなど園児たちは七夕会を楽しみました。

8月7日、児童館において、夏祭りを実施し、56名の児童が参加しました。夏のイベントが相次いで中止となり、児童の外出機会も少なくなったことから、例年と異なり浴衣を着て参加する児童が数多く見受けられました。



こども園で七夕会を開催

8月12日、今年度3回目となる「トッキトウカ事業」を実施し、3名の妊婦が、助産師によるミニ講座を受講しました。

8月17日と24日には、「言葉の教育」事業導入に係るこども園職員研修会を実施しました。事業開始時期は10月1日から着手していきます。

## 環境防災課

6月6日に開催を予定していた令和2年度第73回福島県消防大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりましたが、長年の消防人としての活動が評価され、福島県消防協会定例表彰並びに、福島県消防表彰において町消防団員9名が表彰されました。

6月28日、「防災マップ」住民説明会を開催し、地震や津波、風水害など災害発生時の避難所、避難経路、危険箇所などの防災情報、並びに災害発生時の避難所での新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について説明しました。午前と午後2回開催し、23名の町民の参加がありました。

7月2日、災害発生時にホテル施設を避難場所として活用するとともに災害発生時に特段の配慮が必要な方の避難につなげることを目的として、ハタゴイン福島広野を運営するひろのプロジェクトと「災害時における施設使用に関する

協定」を締結しました。



災害時における施設使用に関する協定

7月29日、広野町安心・安全ネットワーク会議を開催し、声掛けなどの防犯対策、交通事故防止対策について会員企業に協力を求め、安全の確立に取り組みました。併せて立哨活動を国道6号役場前交差点等で実施し、ドライバーに安全運転への注意喚起を促しました。

7月30日、令和2年度第2回広野町消防団分団長・隊長会議を開催し、出水期の水防体制について確認するとともに、双葉地方広域市町村圏組合消防本部との防災行政無線連携広報に伴う出動体制等について協議しました。

## 産業振興課

8月7日、災害が発生した際に、緊急車両の運行や避難所等で必要な燃料等の供給体制を確立し、被災者の救助・援助活動の迅速な実施やライフレインの確保等を円滑に実施することを目的として、有限会社大和田商店並びに有限会社大越と「災害時における燃料の供給等に関する協定」を締結しました。

8月16日、町内の河川と海岸の環境を保全のため、盆送り供物の回収を行ないました。役場敷地内に焼香台と供物台を設置し、早朝より多くの方々に活用いただき、供物を約400個回収しました。

令和2年産米の取組状況につきましては、6月に作付された水田の全筆調査を実施し、作付農家戸数は91戸、作付面積は160ヘクタールでした。  
6月16日と7月13日にあぜ道相談会を行い、延べ70人の出席者に水稲栽培管理、病害虫防除対策などの

現地説明を行い対策等の周知を図りました。

7月5日、町内7地区で実施されている県営広野地区ほ場整備事業について、福島県相双農林事務所が主催し、事業説明会が実施され地権者並びに耕作者30名の方々が参加しました。参加者からは、より良いほ場となるよう工事を進めてほしい等の要望があり、県からは、費用対効果を考慮した工法により、工期内に完成できるよう努力するとの回答をいただきました。

7月18日、19日の両日、町民の帰還促進と町内事業者の支援を目的とする福島県事業再開・帰還促進事業

## 建設課

6月から8月にかけて、令和元年の台風19号および21号に伴う豪雨により発生した被災箇所の災害復旧に重点を置き、取り組んできました。災害復旧工事は、令和元年度からの2ヶ年計画に従い取り組んでいきます。進捗については、全体の約8割の箇所が工事に着手をし、約6割の箇所については復旧が完了しています。継続して早期発注、早期完了に向けて取り組んでいきます。

6月17日、浅見川の河川改修工事について、福島県相双建設事務所が主催し、事業説明会が実施され周辺

地権者12名の方々が参加しました。本事業は9月に設計が完了し、11月に工事着手、令和2年度内に工事を完了する予定です。県道上戸渡・広野線平鈴地区の災害復旧については12月完了予定です。鶯平地区からいわき市方面の災害復旧については、令和2年度内に完了する予定です。

7月5日、浅見川、折木川、北迫川流域全体の良好な河川環境の保全と再生を積極的に推進することにも、河川愛護意識の醸成を図ることを目的に、クリーンアップ作戦を実施しました。総勢350名の参加者により、ふるさと広野の河川清掃作業に取り組みました。今後も河川環境の保全、きれいな町づくりに努めます。

道の駅整備事業については、硬質な右盤の出現以降、国の助言を基に整備方針の検討を重ね、8月3日に広野町議会全員協議会、8月7日に整備検討委員への説明会、8月18日に広野町議会産業厚生常任委員会、8月29日に地権者説明会、8